

5 月度木曜例会(2008/05/01)

ゲストスピーカーはオーストラリア、タスマニアの住人 **Miho** さん、二度目のご登場です。タイトルは”Life of Tasmania Island”

タスマニアの地理、歴史、産業から始まり教育、スポーツ、アクティビティに至るまでなるほどその住人ならではの盛り沢山の内容でした。タスマニアといえはなんといってもタスマニアン アニマルの数々ですが、その動物にショッキングなことが起こっていることも話の中にあり、聞き手全員がギクッとさせられました。まずタスマニアについて。オーストラリアの7州の内の一、面積は約 6.8 万平方キロ、北海道と同じくらいです。人口はなんと 45 万人、北海道が 560 万人ですから想像が付かないくらい手付かずの自然がいっぱいなのでしょう。

1642 年オランダ人の探検家 **Abel Tasman** によって発見された時は半島とレポートされていたとのこと。また南東部の都市 **Hobart** は **Sydney** に次いで古くに開かれた歴史のある町ですが、その近くの **The Tasman Peninsula** はかつては監獄であった、その付け根の場所は非常に狭く監視するにはもってこいの所だった、なぜなら海には鯨がうようよしていたから。そのような話も興味をそそられました、尤も今では息も止まるほどの美しい観光地に様変わりしています。



問題点

- 1) **Tasmanian devil facial Tumor** この項に関しては後述
- 2) 紫外線が強い為の皮膚がん ドライブ中でもノースリーブ厳禁
- 3) 1/3 の女性、胸が大きい。乳がんが多い
- 4) 食生活の影響 糖尿病も多い

日々の生活の中からは

りんごの“ふじ”は有名。ゴルフ費用は年会費 \$370 でし放題。ガーデニングはもっとも安上がりの趣味。こどもたちには宿題というものが無い。黒い瞳の東洋人とは光線の感覚が違い、サングラスは必需品、夜のライトが弱く暗くて見えない。ユーカリを原料としたティッシュは日本が得意先。鉄道は無く道路も A,B のみ保障するが C は??? ガス、水道代は無料、但し電気代は必要。家持ち car 持ちしかも 65 歳以上は天国、医療費は 10% 掛かるが。QANTAS が関空からのフライト中止、JETSTAR AIRWAYS しか無くなった。etc。

かわいい動物たち、Wallabies, Possums, Paddymelons などの有袋類、幻の Tasmanian Tiger, Platypus, そして Wombat。

質疑応答の前に楽しいコインゲームを開催、1 回目の勝ち残り者には Cadburt chocolate の賞品、2 回目の勝者には The Fudge A'Farte がプレゼントされました。



ここで1) の Tasmanian devil facial Tumor について

What is Devil Facial Tumor Disease and how does it affect devils?

Devil Facial Tumor Disease is a term used to describe a fatal condition in Tasmanian devils which is characterised by the appearance of obvious facial cancers. The tumors or cancers are first noticed in and around the mouth as small lesions or lumps. These develop into large tumors around the face and neck and sometimes even in other parts of the body. Adults appear to be most affected by the disease - males the first affected, then females - although juveniles as young as one can also be infected. Badly affected devils may have many cancers throughout the body.

What effect is the disease having on devil populations?

In 1996, Tasmanian devils were photographed in the north-east of the State with what appeared to be large facial tumors – characteristics consistent with what is now known as Devil Facial Tumor Disease. As at November, 2007 the Tasmanian devil disease had spread to more than 60 separate sites covering 59% of the State.

